



西南杜の湖畔公園

インクルーシブな子ども広場づくり

第1回ワークショップニュース：現地確認とアイデア出し

みんなが
もっと一緒に
楽しめる
公園に！

- 第1回 プログラム
- 10:00 はじめに
全体計画及び
本日のプログラムの説明
 - 10:15 グループ内自己紹介
 - 10:30 福岡市の取組
 - 10:40 インクルーシブについて
 - 11:05 対象地の説明～移動
 - 11:30 現地確認
 - 12:00 発表
 - 12:15 まとめ・さいごに



誰もが気軽に一緒に楽しめる遊び場「インクルーシブな子ども広場」の整備を行うこととなった西南杜の湖畔公園について、整備内容の検討を行うためのワークショップを開催しました。

* * * * *
第1回は、令和5年10月7日(土)に「現地確認とアイデア出し」をテーマに開催しました。「福岡市の取組」や「インクルーシブ」について共有し、現地に行って「良いところ、気になるところ」など意見を出し合い、整理しました。

対象地：ふれあい広場付近約3,300㎡（芝生広場、複合遊具、休憩施設、トイレ）ほか、芝生広場や駐車場へのアクセスなども確認



ワークショップ流れ

第1回
令和5.10.7(土)10:00-12:15
@七隈公民館
「現地確認とアイデア出し」



第2回
令和5.10.28(土)10:00~2時間程度
@七隈公民館
「基本プランの作成」

第3回
令和5.11.18(土)10:00~2時間程度
@七隈公民館
「プランのまとめ」

第4回
令和5.12.23(土)10:00~2時間程度
@七隈公民館
「最終プランの確認」

インクルーシブな子ども広場とは・・・



インクルーシブな子ども広場とは、
「誰もが お互いを理解し 安心して笑顔で自分らしく遊ぶことができる場所」
であり、
「子どもの特性に応じた選択肢があることが必要」
です。
「整備にあたっては様々な配慮が必要」です。

遊びの選択肢

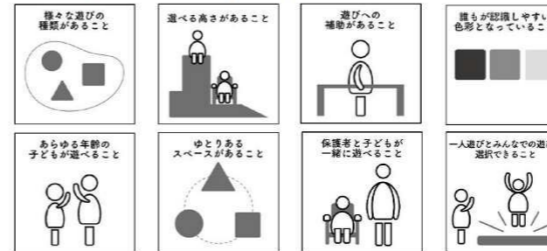


「インクルーシブな子ども広場」の構成要件

様々な遊びの配置

身体的遊びについての共通配慮事項

身体的遊び：すべる、揺れる、回る、登る、跳ねる・飛ぶなどの様々な身体的動作を自由に組み合わせた遊び



精神・情緒的遊びについての共通配慮事項

精神・情緒的遊び：視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚といったすべての感覚が含まれる自由遊び



社会的遊びについての共通配慮事項

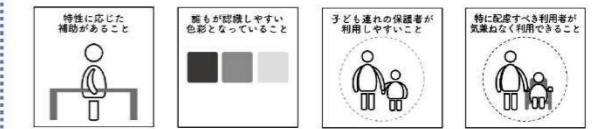
社会的遊び：利用者の交流によって生まれる集団遊び。特に配慮すべき利用者や一般の利用者の交流や、子と保護者の交流、保護者同士の交流なども含まれる。



周辺環境の整備

アクセスについての共通配慮事項

利用者が遊び場に物理的・心理的にアクセス可能とするための取り組み。特に配慮すべき利用者にとってのバリアフリーの観点や、子育てをする保護者への配慮など、あらゆる利用者が可能な限り日常生活の延長として遊び場に到達し、安心して過ごした帰路につくことができるような施設整備。



安全性についての共通配慮事項

利用者の安全を確保するために必要な事項。特に配慮すべき利用者は、子どもの遊びにおいて、保護者による補助・保護が前提となることも多いため、保護者の保護を支援するように遊び場の施設や配置を配慮する必要がある。また、年齢や特性、障がいの有無などの違いにより遊びのペースが異なる子どもたちが、それぞれ安全に遊べるよう配慮する必要もある。



情報環境についての共通配慮事項

現地におけるデザインやサインによって、遊び場を訪れやすい環境づくりを行うほか、遊ぶ上でルールや遊び方を分かりやすく伝えるための環境整備。また、「インクルーシブな子ども広場」の考え方について、あらゆる利用者に発信を続けるとともに、一般の利用者と特に配慮すべき利用者間の交流や同じ障がいに関わる利用者間の交流など、多様な関係性が生まれる環境作りも必要。



※ 特に配慮すべき利用者：精神障がい、発達障がい、知的障がい、肢体不自由、視覚障がい、聴覚障がい、音声・言語機能障がい、内部障がい、日本語を母語としない人

第2回のご案内 / 申込み・問合せ先

令和5. **10.28(土)10:00~** 2時間程度 @七隈公民館

「基本プランの作成」

● 申込み・問合せ先

福岡市役所 公園部 整備課 (担当：佐々木・永家)

メール koenseibi.HUPB@city.fukuoka.lg.jp

電話 092-711-4410

介助が必要な方やお子様連れでも安心してご参加いただけるよう、見守りスタッフを配置します。必要な方はお早めにお申し込みください。

10/25(水)まで
参加者募集中!
お気軽にご参加
ください!



①自己紹介：「普段公園でしていること」をお題に、グループごとに自己紹介し、グループ名を付けました。

グループ内自己紹介

インクルーシブルー

ALL SMILE☺

グループ名 『インクルーシブルー』

グループ内自己紹介

ななくまぷりん

グループ名 『ななくまぷりん』

グループ内自己紹介

ALL SMILE☺

グループ名 『ALL SMILE☺』

散歩、ジョギング、ストレッチ
おしゃべり、ぼーつ
としている
公園清掃、花壇活動など

②福岡市の取組／インクルーシブについて：

どのような取組でどのような広場をつくらうとしているのかを共有しました。



④対象地の良いところ、気になるところ等：市道を渡った芝生広場についても実際に見に行き意見を申し合いました。

インクルーシブルー

ベンチや木陰で休憩しやすい

赤ちゃん用遊具欲しい

遊び場への路面サイン

道路が渡りにくい

グループ名 『インクルーシブルー』



良いところ

- ・通路にベンチや木陰が多い。休憩しやすい

気になるところ

- ・駐車場から遠い
- ・遊具が少ないので遊びにくい
- ・ふれあい広場から段差や柵ですぐに降りられない
- ・テーブル、ベンチは車いすでは入れない
- ・(芝生広場への) 横断歩道がない
- ・トイレのドアが開けた時止まらない

アイデアなど

- ・管理事務所付近にもアピール看板を
 - ・赤ちゃんも楽しめる遊具が欲しい
 - ・日陰が欲しい
 - ・民家との境目が曖昧でわかりにくい
- など

③対象地の良いところ、気になるところ等：市道を渡った芝生広場についても実際に見に行き意見を申し合いました。

ALL SMILE☺

ベンチ増やす

自転車が怖い

遊具の中のイス良い

緑が多い

日陰になる木を真ん中に

自然の地形が楽しそう

グループ名 『ALL SMILE☺』

良いところ

- ・芝生なのは良い
- ・ドングリの木 good!

気になるところ

- ・出入口からすぐにマップを見つけれない
- ・日陰が少ない
- ・裸の木の根が危険
- ・休憩用ベンチ上の屋根がない

アイデアなど

- ・水遊びできる遊具の設置
 - ・トイレに着替え台など欲しい
 - ・スペースを広く使ってほしい
 - ・カラフルではなく自然との調和。視覚の弱い人でもわかりやすいことも必要
 - ・親のケアをするボランティアグループの養成をして欲しい
- など

ななくまぷりん

マウンド良い

遊具古い

寝ころべるベンチ

樹名板が欲しい

グループ名 『ななくまぷりん』

良いところ

- ・小山良い

気になるところ

- ・シーソーが高過ぎる
- ・(ふれあい広場) 複雑な段差が危険
- ・障がい者用駐車スペースの場所が公園側ではない

アイデアなど

- ・立ったまま寄りかかれる箇所
 - ・ふれあい広場に遊具方面への出入口
 - ・発達障害のある子ども遊び方がわかるよう矢印があるといい
 - ・バギーの駐車スペース欲しい“平らなところ”
- など



これらのご意見をもとに、次回は大きな配置を考えます